

SYSMAC CJシリーズ シリアルコミュニケーションユニット CJ1W-SCU

CSM_CJ1W_SCU_DS_J_1_1

コンポと高速な接続を可能とする シリアルコミュニケーション ユニット

- ・RS-232CやRS-422A/485のシリアル通信ポートを2ポート装備したCPU高機能ユニットです。プロトコルマクロ、上位リンク、NTリンク、シリアルゲートウェイ、無手順のシリアル通信モードをポート毎に選択できます。



CJ1W-SCU22 **NEW**

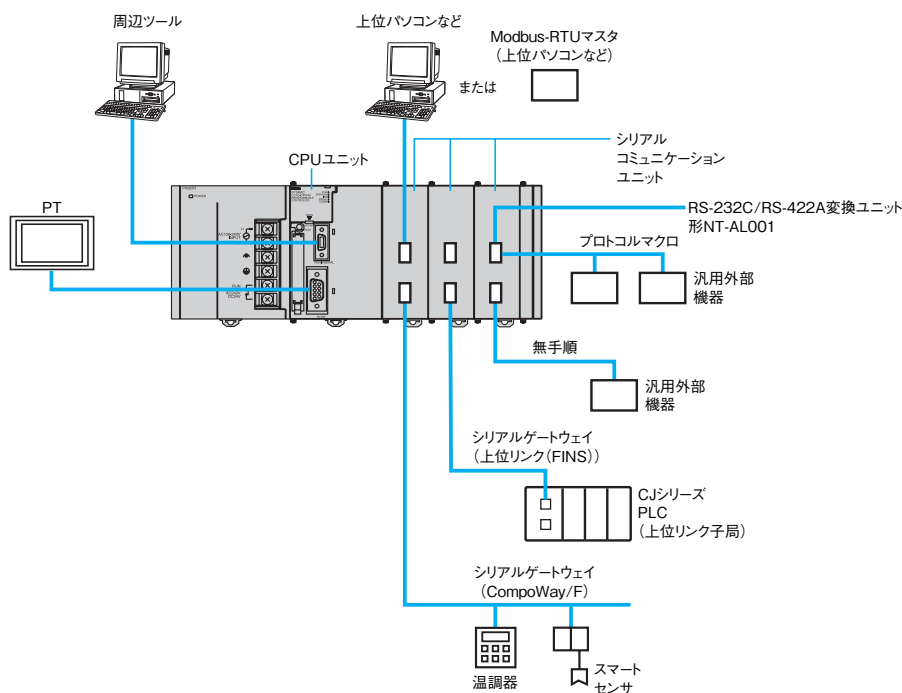
CJ1W-SCU32 **NEW**

CJ1W-SCU42 **NEW**

特長

- ・CPU装置または増設装置に、他のCPU高機能ユニットと合わせて16台装着可能。これにより最大32ポートのシリアル通信が必要なシステムに対応可能です。
- ・RS-232Cポートに、RS-232C/RS-422A変換ユニット（形NT-AL001）を接続し、1：N通信にすることも可能です。
- ・形CJ1W-SCU□2では、通信速度の向上（最大230.4kbps）やCPUユニットへのデータ転送時間の短縮によって高速な外部機器との接続が可能です。

システム構成図

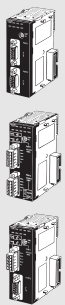
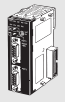


種類／標準価格

(◎印の機種は標準在庫機種です。無印(受注生産機種)の納期についてはお取引先会社にお問い合わせください。)

海外規格について

- ・記号については次のとおりです。U：UL、U1：UL (Class I Div 2 危険場所認定取得品)、C：CSA、UC:cULus、UC1：cULus (Class I Div 2 危険場所認定取得品)、CU：cUL、N：NK、L：ロイド、CE：EC指令。
- ・使用条件についてはお問い合わせください。

ユニット種類	商品名称	仕様		占有号機数	消費電流 (A)		形式	標準価格 (円)	海外規格
		通信インタフェース部	通信機能		5V系	24V系			
CJ1 CPU 高機能ユニット	シリアルコミュニケーションユニット 高速タイプ 	RS-232C×2ポート	ポート毎に以下の機能を選択可能 ・プロトコルマクロ ・上位リンク ・NTリンク (1：Nモード) ・シリアルゲートウェイ ・無手順 ・Modbus-RTUスレーブ	1号機分	0.28 *1	—	形CJ1W-SCU22 NEW	98,000	UC1、CE
		RS-422A/485×2ポート			0.40	—	形CJ1W-SCU32 NEW	98,000	
		RS-232C×1ポート RS-422A/485×1ポート			0.36 *1	—	形CJ1W-SCU42 NEW	98,000	
CJ1 CPU 高機能ユニット	シリアルコミュニケーションユニット 	RS-232C×2ポート	ポート毎に以下の機能を選択可能 ・プロトコルマクロ ・上位リンク ・NTリンク (1：Nモード) ・シリアルゲートウェイ *2 ・無手順 *3 ・Modbus-RTUスレーブ *4	1号機分	0.28 *1	—	◎形CJ1W-SCU21-V1	48,000	UC1、N、L、CE
		RS-422A/485×2ポート			0.38	—	◎形CJ1W-SCU31-V1	54,000	
		RS-232C×1ポート RS-422A/485×1ポート			0.38 *1	—	◎形CJ1W-SCU41-V1	50,000	

- *1. RS-232C/RS-422A変換ユニット 形NT-AL001使用時は、0.15A/台増となります。
- *2. シリアルゲートウェイ機能は、シリアルコミュニケーションユニットのユニットVer.1.2以降のみ。
- *3. 無手順機能は、シリアルコミュニケーションユニットのユニットVer.1.2以降のみ (かつCPUユニットのユニットVer.3.0以降であることが必要)。
- *4. Modbus-RTUスレーブ機能は、シリアルコミュニケーションユニットのユニットVer.1.3以降のみ。

シリアルコミュニケーションユニット付属品

形式	付属品	仕様
形CJ1W-SCU22	シリアルポート (RS-232C) コネクタ×2	シリアルポート接続用コネクタ (プラグ：形XM2A-0901、フード：形XM2S-0911-E) セット (D-SUB 9ピン オス側コネクタ)
形CJ1W-SCU32	シリアルポート (RS-422A/485) コネクタ×2	端子台コネクタ (FMC1.5/5-STF-3.5AU) フェニックスコンタクト製
形CJ1W-SCU42	シリアルポート (RS-232C) コネクタ×1	シリアルポート接続用コネクタ (プラグ：形XM2A-0901、フード：形XM2S-0911-E) セット (D-SUB 9ピン オス側コネクタ)
	シリアルポート (RS-422A/485) コネクタ×1	端子台コネクタ (FMC1.5/5-STF-3.5AU) フェニックスコンタクト製
形CJ1W-SCU21-V1 形CJ1W-SCU31-V1 形CJ1W-SCU41-V1	シリアルポート (RS-232C) コネクタ×2	シリアルポート接続用コネクタ (プラグ：形XM2A-0901、フード：形XM2S-0911-E) セット (D-SUB 9ピン オス側コネクタ)

実装可能な装置

形式		CJシステム (CJ1、CJ2)		CP1Hシステム	NSJシステム	
		CPU装置	増設装置	CP1H本体	NSJ本体	増設装置
形CJ1W-SCU22	ユニットVer.2.0	10台 *1	10台 *2 (増設装置1台あたり)	2台 *3	不可	10台 *2 (増設装置1台あたり)
形CJ1W-SCU32	ユニットVer.2.0					
形CJ1W-SCU42	ユニットVer.2.0					
形CJ1W-SCU21-V1	ユニットVer.1.3					
形CJ1W-SCU31-V1	ユニットVer.1.3					
形CJ1W-SCU41-V1	ユニットVer.1.3					

- *1. CJ2H CPUユニット (EtherNet/IP機能なし) 形CJ2H-CPU6□と電源ユニット形CJ1W-PA205□またはCJ1W-PD025を使用する場合の台数です。(形NT-AL001を使用しない場合)
- *2. 電源ユニット形CJ1W-PA205□または形CJ1W-PD025を使用する場合の台数です。
- *3. CJユニットアダプタ形CP1W-EXT01が必要です。

機器の仕様

PLCシリーズ		CJシリーズ					
品名		シリアルコミュニケーションユニット					
ユニットの種類		CPU高機能ユニット					
形式		形CJ1W-SCU22	形CJ1W-SCU32	形CJ1W-SCU42	形CJ1W-SCU21-V1	形CJ1W-SCU31-V1	形CJ1W-SCU41-V1
シリアル通信ポート	ポート1	RS-232C	RS-422A/485	RS-422A/485	RS-232C	RS-422A/485	RS-422A/485
	ポート2	RS-232C	RS-422A/485	RS-232C	RS-232C	RS-422A/485	RS-232C
プロトコル	ポート1	上位リンク、プロトコルマクロ、シリアルゲートウェイ、無手順、NTリンク、Modbus-RTUスレーブ、折り返しテスト、上位リンク1:1手順モードのいずれかを、ポート毎に選択可 *1、*2			上位リンク、プロトコルマクロ、NTリンク、折り返しテストのいずれかを、ポート毎に選択可		
	ポート2				<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットVer.1.2以降では、さらに、シリアルゲートウェイ、無手順、上位リンク1:1手順をサポートしました*1 ・ユニットVer.1.3以降では、Modbus-RTUスレーブモードをサポートしました。 		
	CPU装置	他に装着するCPU高機能ユニットとの合計で最大16台装着位置に制限なし			他に装着するCPU高機能ユニットとの合計で最大16台装着位置に制限なし		
増設装置	ただし、外部割込タスクを使用する場合、CPU装置上の以下のいずれかのスロットに装着する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・形CJ2H-CPU6□-EIPに装着時：スロット0~3 ・形CJ2H-CPU6□、CJ1G/H-CPU□□Hに装着時：スロット0~4 ・形CJ1M-CPU□□に装着時：スロット0~2 それ以外のスロットに装着した場合、外部割込タスクが起動しません。						
CPUユニットとのデータ交換	ソフトスイッチおよびステータスの常時リフレッシュ	CPU高機能ユニットリレーエリア25CHのうち、25CHを占有（常時CPUユニットとデータ交換）					
	システム設定のCPUユニットからの転送	CPU高機能ユニットDMエリアのうち、各シリアルポートあたり10CH（計20CH）を占有 以下のタイミングでCPUユニットからデータ転送 <ul style="list-style-type: none"> ・電源ON、リスタート ・ラダー（STUP）命令 ・システム設定変更中（ARエリア）をOFF→ON 					
簡易バックアップ機能		CPUユニットの簡易バックアップ操作によって、シリアルコミュニケーションユニット内のプロトコルマクロデータをメモリカードへバックアップ/リストア/照合可能（CJ2/CJ1-H/CJ1M CPUユニット使用時のみ）。					
消費電流*3		280mA+x	400mA	360mA+x	280mA+x	380mA	380mA+x
質量		160g以下	120g以下	140g以下	110g以下	110g以下	110g以下
その他一般仕様		SYSMAC CJシリーズの一般仕様準ずる					

*1. シリアルゲートウェイ：プロトコルマクロモードでもシリアルゲートウェイ機能を実行可能。

*2. 無手順：無手順でデータ受信時、外部割込タスクを起動可能。CJ2 CPUユニットユニットVer.1.1以降と組み合わせたときは、高速無手順（DRXDU/DTXDU命令）が可能。

*3. シリアルコミュニケーションユニット単体での消費電流です。

形NT-AL001をご使用になる場合は、シリアルコミュニケーションユニットから形NT-AL001の電源を供給します。

形NT-AL001をご使用になる場合は、形NT-AL001 1台につき、150mAの消費電流が増加します。

各ユニットそれぞれ消費電流値が異なります。ユニット置き換えの際はご注意ください。

x:RS-232Cポートから形NT-AL001へ供給する5V電源用として、1ポートあたり150mA加算されます。

プロトコルの仕様

上位リンクの仕様

項目	内容		
通信方式	半二重（手上げ機能使用時全二重）		
同期方式	調歩同期式（非同期式）		
通信速度 *1	RS-232CポートおよびRS-422A/485ポート：1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400ビット/s *2 工場出荷時：9600ビット/s		
通信距離 *1	RS-232Cポート：最大15m *3 RS-422A/485ポート： ・形CJ1W-SCU□1-V1の場合 最大500m（ケーブル総延長500m以下、T分岐の支線長10m以下） ・形CJ1W-SCU□2の場合 最大1200m（ケーブル総延長1200m以下、マルチドロップ接続可能。ただし、形NT-AL001接続時のRS-422A/485側は最大500m）		
接続形態	RS-232Cポート：1：1（変換アダプタ使用により、1：N [N=最大32台] が可能） RS-422A/485ポート：1：N（N=最大32台）		
接続台数	最大32台（0～31号機、1：1接続時は0号機に設定）		
フレーム形式	Cモードコマンド	ヘッダ：@、アドレス：（上位リンク用ユニットNo.）0～31（BCD形式）、 データ：ヘッダコード+テキスト、 誤りチェックコード：FCS、ターミネータ：*+CR	
	FINSコマンド	ヘッダ：@、アドレス：（上位リンク用ユニットNo.）0～31（BCD形式）、 データ：ヘッダコード（FA固定）+FINSヘッダ+FINSコマンド+テキスト、 誤りチェックコード：FCS、ターミネータ：*+CR	
誤りチェックコード	垂直パリティ 偶数/奇数/なし およびFCS（水平パリティをASCII変換したもの）		
コマンドの流れと種類	コマンドの流れ	コマンドの種類	内容
	上位コンピュータ→PLC	Cモードコマンド FINSコマンド（を上位リンクプロトコルで発行）	1：1または1：Nで直接接続しているPLCと通信が可能 *4 1：1または1：Nで直接接続しているPLCと通信が可能
	PLC→上位コンピュータ	FINSコマンド（を上位リンクプロトコルで発行）	CPUユニットのSEND/RECV/CMND命令により通信 *5

*1. 通信速度、通信距離は、相手の機器に依存する場合があります。

*2. 230400ビット/sは形CJ1W-SCU□2の場合のみ。

*3. RS-232Cでは、ケーブル最大長15mまでです。ただし、19.2kビット/sを超える伝送速度でご使用になる場合は、RS-232C規格で定義されていないので、相手機器のマニュアルを参照してください。

*4. 上位コンピュータから、指定のフレームを作成し送信します。

*5. 上位コンピュータ側でコマンドを解釈し、レスポンスを返信するプロトコルが必要です。
上位コンピュータ：PLC=1：1の場合だけ可能です。

プロトコルマクロ機能の仕様

項目	内容		
プロトコル数	最大20	プロトコルサポートツール（CX-Protocol）により作成・登録可	
シーケンス数	最大1000		
1プロトコル当たり	シーケンス数	最大60	
	メッセージ数	最大300	
	受信マトリクス数	最大100	
シーケンスの実行条件	PLC本体のPMCR命令による（シーケンスNo.を指定）		
通信方式	半二重または全二重		
同期方式	調歩同期式（非同期式）		
通信速度 *1	RS-232CポートおよびRS-422A/485ポート： 1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400ビット/s 工場出荷時：9600ビット/s *2		
通信距離 *1	RS-232Cポート：最大15m RS-422A/485ポート： ・形CJ1W-SCU□1-V1の場合 最大500m（ケーブル総延長500m以下、T分岐の支線長10m以下） ・形CJ1W-SCU□2の場合 最大1200m（ケーブル総延長1200m以下、マルチドロップ接続可能。ただし、形NT-AL001接続時のRS-422A/485側は最大500m）		
接続形態	RS-232Cポート：1：1（変換アダプタ使用により、1：N [N=最大32台] が可能） RS-422A/485ポート：1：N（N=最大32台）		
接続台数	最大32台（0～31号機、1：1接続時は0号機に設定）		
PLC-プロトコルマクロ機能間のデータ交換最大CH数	オペランド指定	250CH	データCH数フィールド（1CH）を含む
	リンクCH指定	500CH	O1、O2、I1、I2の合計500CH
	ダイレクト指定	500CH	1データ属性あたりの最大CH数
シーケンス単位の内容（ステップ共通パラメータ）	1シーケンス当たりステップ数	最大16	
	伝送制御パラメータ	X-on/X-offフロー、RS/CSフロー、デリミタ制御、コンテンション制御のいずれか、およびモデム制御を選択可能	

項目		内容					
シーケンス単位の内容 (ステップ共通パラメータ)	レスポンス通知方法 (オペランド指定)	スキャン通知方式：受信したデータをCPUユニットのスキャン時にI/Oメモリに書き込みます。					
		スキャン方式 (固定)	あり				
		割込通知方式	なし				
		割込通知方式 (受信ケースNo.)	なし				
	送受信処理における監視時間	受信待ち、受信完了、送信完了のいずれかの監視可 設定範囲：0.01～0.99s、0.1～9.9s、1～99s、1～99分のいずれか					
	リンクチャネル指定	PLC本体とシリアルコミュニケーションユニット間で、コミュニケーションユニットのリフレッシュ時にデータ交換されるエリア。 受信データを格納するエリア、送信データを格納するエリア、各々2つが可能。*3					
ステップ単位の内容	コマンド	送信のみ (Send)、受信のみ (Recv)、送信 & 受信 (Send&Recv)、待機 (Wait)、受信バッファクリア (Flush)、ER-ON (Open)、ER-OFF (Close) のいずれか					
	リピートカウンタ	1～255回					
	リトライ回数	0～9 (ただし、コマンドが送信 & 受信のときだけ)					
	送信ウェイト時間	0.01～0.99s、0.1～9.9s、1～99s、1～99分のいずれか (ただし、コマンドが送信または送信 & 受信のときだけ)					
	レスポンス書込有無 (オペランド指定)	(PMCR命令の第4オペランドで指定したエリアに、受信データを格納するとき) 受信処理終了時、受信メッセージを格納する/しないを選択可能					
	次処理	ステップが正常終了時、End (シーケンスを終了)、Next (次のステップNo.へ)、Goto (指定ステップNo.へ)、Abort (ステップを中断し、そのシーケンスを終了) のいずれかを選択可					
	エラー処理	ステップが異常終了時、同上					
	送信メッセージ	コマンドが、送信または送信 & 受信のとき、指定アドレスへ送られるデータ	ヘッダ、アドレス、レンジ、データ、誤りチェックコード、ターミネータから成る				
	受信メッセージ	コマンドが、受信または送信 & 受信のとき、指定アドレスから送られるデータ					
		受信マトリクス	コマンドが、受信または送信 & 受信のとき、期待する受信メッセージ (最大15) を設定し、一致したデータによって、次処理を切り替える	ケースNo.00～15毎に、受信メッセージと次処理を指定 最大16ケースの内、1ケースは受信メッセージに「Other」(設定した受信メッセージ以外)を設定することが必要			
メッセージ単位の内容	ヘッダ、ターミネータのデータ属性	定数	ASCIIデータ、HEXデータ、制御コードのいずれか				
		定数	ASCIIデータ、Hexデータ、制御コードのいずれか (アドレスの場合、制御コードは不可)				
	送信/受信メッセージの中のアドレスおよびデータのデータ属性	変数		変換なし、ASCIIデータへの変換、HEXデータへの変換のいずれか (読出/書込方向指定可)			
			指定方式	(X,Y) X：実効アドレス (どこから読むか、またはどこへ書くか) Y：データサイズ (1～1000) * 4			
			X	チャンネル指定	チャンネル読み出し (I/Oメモリ→送信データへ)	PMCR命令の第3オペランドによる指定	設定先頭アドレス+n (nには、リピートカウンタNを含む1次式 aN+bも可)
						リンクチャネルによる指定	
						I/Oメモリ直接指定	
					チャンネル書き込み (受信データ→I/Oメモリへ)	PMCR命令の第4オペランドによる指定	
					リンクチャネルによる指定		
					I/Oメモリ直接指定		
			ワイルドカード	*	どのデータまたはアドレスでも受信 (受信メッセージにだけ可)		
			リピートカウンタ	N			
	Y	リピートカウンタを含む1次式	aN+b	a:0～1000、b:1～1000 N:リピートカウンタ値			
		ワイルドカード	*	長さに関わらず受信 (受信メッセージにだけ可)			
チャンネル指定		チャンネル読み出し (I/Oメモリ→送信データへ)	PMCR命令の第3オペランドによる指定	設定先頭アドレス+n (nには、リピートカウンタNを含む1次式 aN+bも可)			
		リンクチャネルによる指定					
		I/Oメモリ直接指定					
	誤りチェックコード	LRC、LRC2、CRC-CCITT、CRC-16、SUM、SUM1、SUM2を計算可能					
	送信/受信メッセージの最大長	1000バイト (ただし、システム設定により、200～1000の間で最大長を設定可能)					
	1メッセージ中のデータ属性登録最大数	96個*5					

項目	内容	
メッセージ単位の内容	1メッセージ中の書込系データ属性登録最大数	30個 *6
トレース機能	<ul style="list-style-type: none"> 送信および受信メッセージの時系列データを合計1700バイト（キャラクタ）までトレース可能。 ステップNo.、RS、CSなどの制御信号の変化もトレース可能。 	

- *1. 通信速度、通信距離は、相手の機器に依存する場合があります。
 - *2. ユニットVer.1.2以降では、57600ビット（57.6k）/sも選択可能（115200（115.2k）ビット/sは不可）
115200/230400ビット/s は形CJ1W-SCU□2の場合のみ。
 - *3. ユニットVer.1.2以降では、従来の要求後I/Oリフレッシュ方式以外に、常時I/Oリフレッシュ方式をサポート（割付DMエリアで選択）。
 - *4. データサイズは伝送路上のバイト数
 - *5. CX-Protocolにより、1メッセージ中のデータ属性を最大96個まで登録することが可能です。
 - *6. 1メッセージ中に書込系データ属性を31個以上登録し、プロトコルマクロを実行した場合は、「マクロ文法エラー」となります。
- 注. プロトコルマクロモードで、RS-422A/485を2線式で使用する場合は、伝送制御パラメータにモデム制御のみを使用し、RS/CSフロー制御は選択しないでください。

シリアルゲートウェイの機能と仕様

項目	内容
変換元	FINSコマンド（ネットワーク経由（上位リンクFINSを含む）、CPUバス経由で受信）
変換機能	<ul style="list-style-type: none"> 受信したFINSコマンドがユニットのシリアルポート宛てで、FINSコマンドコードが、2803HEXのとき、FINSヘッダを取り除いて、CompoWay/Fコマンドに変換 2804HEXのとき、FINSヘッダを取り除いて、Modbus-RTUコマンドに変換 2805HEXのとき、FINSヘッダを取り除いて、Modbus-ASCIIコマンドに変換して、シリアルポートへ送信 受信したFINSコマンドがユニット宛てのとき（FINSコマンドコードは任意）、FINSコマンドを上位リンクヘッダ/ターミネータで包んで送信
変換後	<ul style="list-style-type: none"> CompoWay/Fコマンド Modbus-RTUコマンド Modbus-ASCIIコマンド 上位リンクFINSコマンド
有効なシリアル通信モード	シリアルゲートウェイモードまたはプロトコルマクロモード
キューイング機能	FINSコマンドを最大5つまで変換・送信待ちとして保持可能
プロトコルマクロ実行中の処理	プロトコルマクロ実行中にFINSコマンドを受信したとき、送受信シーケンスのステップ間でシリアルゲートウェイが割り込み実行。ただし、次のステップがReceiveコマンドのときは、シリアルゲートウェイは実行されず待機。それ以外のときは即実行 *1
レスポンスタイムアウト監視機能	シリアルゲートウェイ機能により、各プロトコルに変換したメッセージを送信してからレスポンスを受信するまでの時間を監視（シリアルゲートウェイモード時またはプロトコルマクロモード時） デフォルト：5秒、任意設定：0.1～25.5秒 *2
送信開始タイムアウト監視機能	FINSコマンドを受信してから各プロトコルに変換し、送信開始するまでの時間を監視（プロトコルマクロモード時のみ） デフォルト：5秒、任意設定：0.1～25.5秒 *3
送信ディレー機能	シリアルゲートウェイ機能により各プロトコルに変換した後、実際にデータを送信するまでの時間を設定可能（シリアルゲートウェイモード時またはプロトコルマクロモード時） デフォルト：0秒、任意設定：0.01～300.00秒

- *1. シリアルゲートウェイ実行時、受信バッファはクリアされます。
シリアルゲートウェイ禁止スイッチ（割付リレーエリア）をOFF→ONにすることで、プロトコルマクロモード時にシリアルゲートウェイ機能を禁止にすることができます。
- *2. タイムアウト時、FINS発行元にFINS終了コード（0205Hex（レスポンスタイムアウト））を返します。
- *3. タイムアウト時、FINSコマンド発行元にFINS終了コード（0204Hex（相手ノードビジー））を返します。このとき、送信処理は実行されず、受信したFINSコマンドは破棄されます。

無手順の仕様

項目	内容	
通信方式	全2重	
通信速度 *1	RS-232CポートおよびRS-422A/485ポート：1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400ビット/s *2 工場出荷時：9600ビット/s	
通信距離 *1	RS-232Cポート：最大15m RS-422A/485ポート： <ul style="list-style-type: none"> 形CJ1W-SCU□1-V1の場合 最大500m（ケーブル総延長500m以下、T分岐の支線長10m以下） 形CJ1W-SCU□2の場合 最大1200m（ケーブル総延長1200m以下、マルチドロップ接続可能。ただし、形NT-AL001接続時のRS-422A/485側は最大500m） 	
メッセージ （通信フレーム構成）	以下の6種類のいずれかを割付DMエリア設定エリアで設定 ①データのみ（スタートコード、エンドコードともなし） ②スタートコード+データ ③データ+エンドコード ④スタートコード+データ+エンドコード ⑤データ+CR+LF ⑥スタートコード+データ+CR+LF	
	割付DMエリア設定で設定（スタートコード有無、エンドコード有無、スタートコード有のときそのスタートコード00～FFHEX設定、エンドコード有のときそのエンドコード00～FFHEX設定、エンドコード無のとき受信データ数を設定）	
	スタートコード	なし、または00～FFHEX
	エンドコード	なし、または00～FFHEX、またはCR+LF
受信時の受信データ数	上記①または②のとき、受信データ数を1～256バイトの範囲で設定（割付DMエリア設定による）	

項目	内容
メッセージの送信	TXDUまたはDTXDU命令を使用 *3
メッセージの受信	RXDU命令またはDRXDU命令を使用 *3
最大メッセージ長	送信、受信とも、スタートコード、エンドコードを含めて、最大259バイト (含まないで、最大256バイト)
データの変換	無変換
通信手順	なし
送信ディレー時間	TXDまたはTXDU命令またはDTXDU命令実行時、送信ディレー時間後、ポートからデータが送信されます。*3 0~300秒 (0~300,000ms) (10ms単位で設定可能：割付DMエリア設定による)
受信カウンタ	ポートに受信したデータ数 (0~256) をカウントすることが可能
受信バッファのクリアタイミング	・形CJ1W-SCU□1-V1の場合：RXD/RXDU命令実行直後にクリア ・形CJ1W-SCU□2の場合：DRXDU命令"受信バッファクリアをする/しない"を、割付DMに設定可能 *3

*1. 通信速度、通信距離は、相手の機器に依存する場合があります。

*2. 115200/230400ビット/sは形CJ1W-SCU□2の場合のみ。

*3. DTXDU命令、DRXDU命令は、形CJ1W-SCU□2を、CJ2 CPUユニット ユニットVer.1.1以降に装着したときのみ使用可。

Modbus-RTUの仕様

項目	内容
モード	Modbus-RTUスレーブモード *1
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400ビット/s *2 デフォルト：19200ビット/s
データ長	8ビット
パリティ	偶数/奇数/なし デフォルト：偶数パリティ
ストップビット	1ビット (パリティなし設定のときのみ2ビット)
アドレス設定範囲	1~247 (一斉同報は0)
フレームフォーマット	Slave Address : 1バイト Function Code : 1バイト Data : 0~252バイト CRCコード : 2バイト

*1. Modbus-ASCIIスレーブモードはサポートしていません。

*2. 230400ビット/sは形CJ1W-SCU□2の場合のみ。

サポートコマンド一覧

Function Code (16進)	機能	機能 (Modbus名称)
01	I/Oメモリエリア (CIO/WR/HR/AR) の複数接点読出	Read Coils
02	I/Oメモリエリア (CIO) の複数接点読出	Read Discrete Inputs
03	I/Oメモリエリア (DM/EM) の複数チャンネル読出	Read Holding Registers
04	I/Oメモリエリア (CIO/WR/HR/AR) の複数チャンネル読出	Read Input Registers
05	I/Oメモリエリアの接点書込	Write Single Coil
06	I/Oメモリエリア (DM/EM) のチャンネル書込	Write Single Register
08	エコーバックテスト	Diagnostic
0F	I/Oメモリエリアの複数接点書込	Write Multiple Coils
10	I/Oメモリエリア (DM/EM) の複数チャンネル書込	Write Multiple Registers

ユニットバージョンと製造時期/ Lot No.との関係

形CJ1W-SCU□1-V1

種類	タイプ	製造時期			
		形式 (海外形式)	～2004年5月	2004年6月～ 2005年10月	2005年11月～ 2009年8月
CPU高機能 ユニット	シリアルコミュニケーションユニット	形CJ1W-SCU21-V1	バージョン表記なし	ユニットVer.1.2 (Lot No. : 040617～)	ユニットVer.1.3
		形CJ1W-SCU41-V1			
		形CJ1W-SCU31-V1			
サポートソフト	CX-Programmer	形WS02-CXPC1-JV□	～Ver.4.0	Ver.5.0	Ver.6.1
	CX-Protocol	形WS02-PSTC1-J (形WS02-PSTC1-E)	～Ver.1.4	Ver.1.5	Ver.1.7

*2006年4月から製造

形CJ1W-SCU□2

種類	タイプ	製造時期		
		形式 (海外形式)	2009年9月～	
CPU高機能 ユニット	シリアルコミュニケーションユニット	形CJ1W-SCU22	ユニットVer.2.0	
		形CJ1W-SCU32		
		形CJ1W-SCU42		
サポートソフト	CX-Programmer	形WS02-CXPC□-V□	Ver.8.3	
	CX-Protocol	形WS02-PSTC1-J (形WS02-PSTC1-E)	Ver.1.9	

ユニットバージョンによるサポート機能一覧

シリアルコミュニケーションユニット ユニットVer.2.0によるサポート機能一覧

○：サポートあり、－：サポートなし

ユニットバージョン		ユニットVer.2.0		
CJシリーズ	シリアルコミュニケーションユニット 形式	形CJ1W-SCU22		
		形CJ1W-SCU32		
		形CJ1W-SCU42		
機能	シリアルゲートウェイ機能	○		
	上位リンク	1：1手順	○	
		上位リンクの互換機種選択機能	○	
	無手順	○		
	プロトコル マクロ	リンクチャンネル指定でのデータ交換タイミ ング	要求後I/Oリフレッシュ方式 常時I/Oリフレッシュ方式	
		PMCR命令実行時の受信バッファ処理	クリア/保持選択可能	
		最大伝送速度 (ビット/s)	230400可能	
	標準システムプロトコルの追加	○		
Modbusスレーブ機能	○			

シリアルコミュニケーションユニット ユニットVer.1.2/Ver.1.3によるサポート機能一覧

○：サポートあり、－：サポートなし

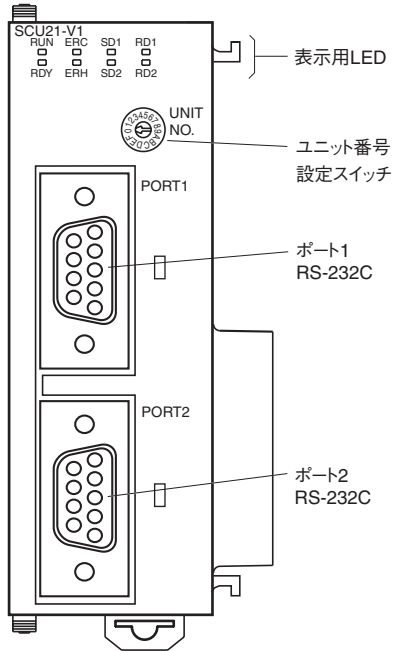
ユニットバージョン		従来の機種 (ユニットバージョン表記なしタイプ)	ユニットVer.1.2	ユニットVer.1.3	
CJシリーズ	シリアルコミュニケーションユニット 形式	形CJ1W-SCU21	形CJ1W-SCU21-V1	形CJ1W-SCU21-V1 (同左)	
		—	—	形CJ1W-SCU31-V1	
		形CJ1W-SCU41	形CJ1W-SCU41-V1	形CJ1W-SCU41-V1 (同左)	
機能	シリアルゲートウェイ機能	—	○	○ (同左)	
	上位リンク	1：1手順	○	○ (同左)	
		上位リンクの互換機種選択機能	—	○	○ (同左)
	無手順	—	○	○ (同左)	
	プロトコル マクロ	リンクチャンネル指定でのデータ交換タイ ミング	要求後I/Oリフレッシュ方式の み	要求後I/Oリフレッシュ方式 常時I/Oリフレッシュ方式	要求後I/Oリフレッシュ方式 (同左) 常時I/Oリフレッシュ方式 (同左)
		PMCR命令実行時の受信バッファ処理	クリアのみ	クリア/保持選択可能	クリア/保持選択可能 (同左)
		最大伝送速度 (ビット/s)	57600、115200不可 (最大：38400)	57600可能	57600可能 (同左)
	標準システムプロトコルの追加	—	○	○ (同左)	
Modbusスレーブ機能	—	—	○		

注. 無手順モードを使用するときは、必ずCJシリーズCPUユニット ユニットVer.3.0以降を使用してください。

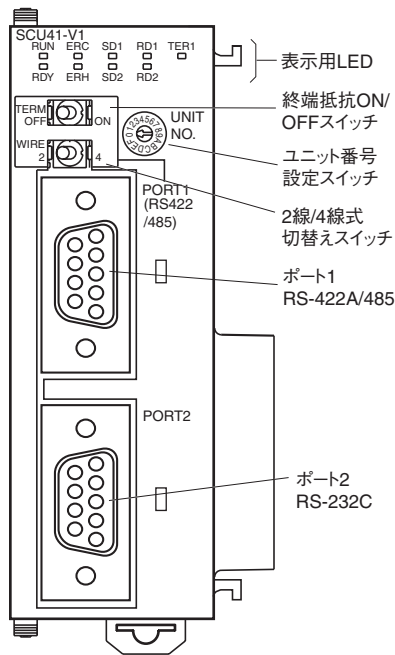
外部インタフェース

外部インタフェースとして、RS-232Cポート、RS-422A/485ポートを持っています。

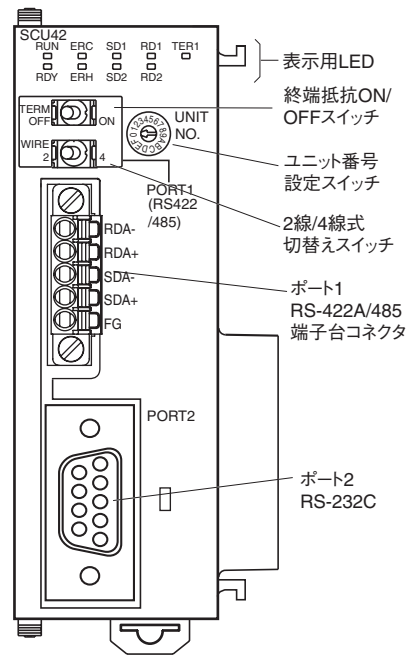
形CJ1W-SCU21-V1/SCU22



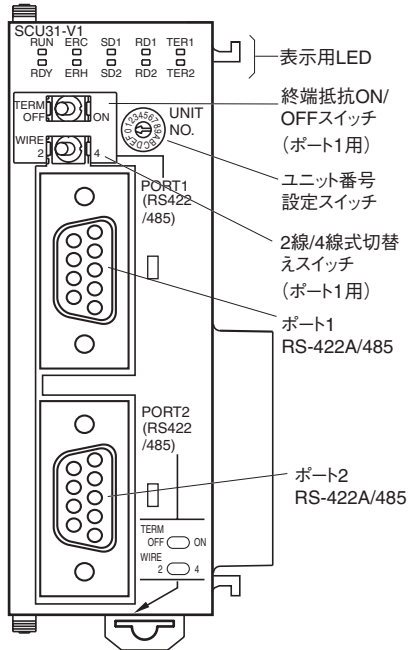
形CJ1W-SCU41-V1



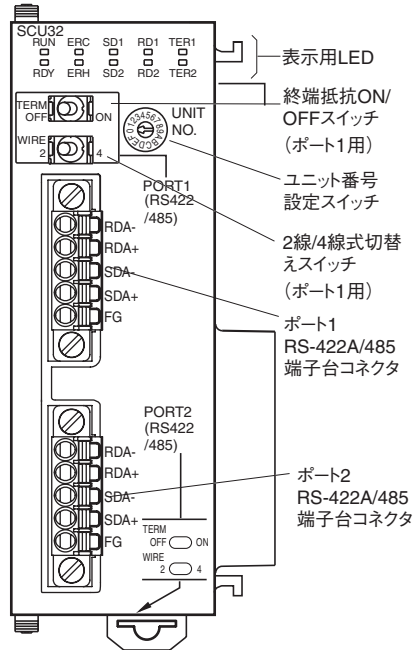
形CJ1W-SCU42



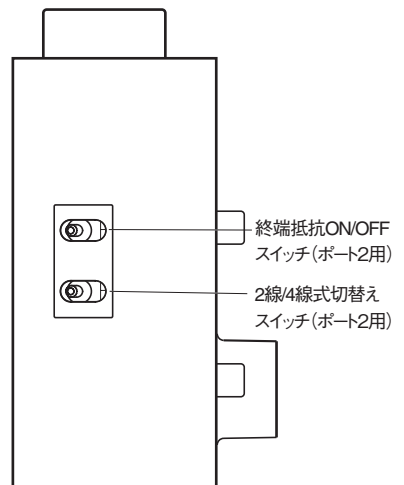
形CJ1W-SCU31-V1



形CJ1W-SCU32



底面図(形CJ1W-SCU3□(-V1)のみ)



各ポートの仕様

RS-232Cポート

プロトコル	上位リンク	プロトコルマクロ	NTリンク (1:Nモード)
通信方式	全二重	全二重または半二重	半二重
同期方式	調歩同期式 (非同期式)		
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400 ビット/s *1		標準のNTリンクまたは高速NTリンク *2
接続形態	1:1 (変換アダプタの使用により、1:Nが可能)		
伝送距離	最大15m *3		
インタフェース	EIA RS-232C準拠		

プロトコル	無手順	シリアルゲートウェイ	Modbus-RTU
通信方式	全二重	—	—
同期方式	—	—	—
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400 ビット/s *1		
接続形態	1:1 (変換アダプタの使用により、1:Nが可能)		
伝送距離	最大15m *3		
インタフェース	EIA RS-232C準拠		

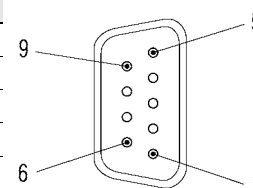
*1. 230400ビット/sは形CJ1W-SCU□2の場合のみ対応しています。

*2. NTリンク (1:Nモード) で“高速のNTリンク”を選択できるのは、1999年12月20日以降のシリアルコミュニケーションユニットに限ります。1999年12月19日以前では、“標準のNTリンク”固定となります。

*3. RS-232Cでは、ケーブル最大長15mまでです。ただし、19.2kビット/sを超える伝送速度でご使用になる場合は、RS-232C規格で定義されていないので、相手機器のマニュアルを参照してください。

コネクタピン配置

ピンNo.	略称	信号名称	入出力
1 *1	FG	シールド	—
2	SD	送信データ	出力
3	RD	受信データ	入力
4 *2	RS	送信要求	出力
5 *2	CS	送信可	入力
6 *3	5V	電源	—
7 *2	DR	データセットレディ *4	入力
8 *2	ER	データターミナルレディ	出力
9	SG	信号用接地	—
シェル *1	FG	シールド	—



*1. 1番ピンおよびシェルは、シリアルコミュニケーションユニット内を経由して、電源ユニットの接地端子 (GR) に接続されています。したがって、電源ユニットのGRを接地することでケーブルのシールドが接地されます。

*2. RS、CS、DR、ER信号の状態は、割付リレーエリアでモニタすることができます。また、DR信号は、システムの動作に影響しませんので、ユーザ用途で使用可能です。

*3. 6番ピン (5V) は、変換アダプタ形NT-AL001を使用する場合必要です。

*4. DR信号は信号線のモニタとして使用しています。CD (キャリア検出) の信号としても使用可能です。

注. ユニットのRS-232Cポートの6番ピン (+5V電源) は、RS-232C/RS-422A変換ユニット (形NT-AL001) 以外の外部接続機器には接続しないでください。外部接続機器およびユニット故障する恐れがあります。接続ケーブルは本データシートに記載されている専用ケーブルを使用または作成してください。市販の一般パソコン用RS-232Cケーブルを使用すると、外部機器およびCPUユニットが故障する恐れがあります。

形NT-AL001との接続用として、下記の専用ケーブルが用意されていますので、このケーブルを使用していただくことをお勧めします

形NT-AL001接続用ケーブル：形XW2Z-070T-1 (0.7m)

形XW2Z-200T-1 (2m)

適合コネクタ

プラグ：形XM2A-0901 (オムロン製) または同等品

フード：形XM2S-0911-E (オムロン製) または同等品

プラグ、フードは各ポートに1個付属しています。

推奨ケーブル

UL2464 AWG28×5P IFS-RVV-SB (UL品) 藤倉電線製

AWG28×5P IFVV-SB (非UL品)

UL2464-SB (MA) 5P×28AWG (7/0.127) (UL品) 日立電線製

CO-MA-VV-SB 5P×28AWG (7/0.127) (非UL品)

線路長：15m以下

RS-422A/485ポート

プロトコル	上位リンク	プロトコルマクロ	NTリンク (1:Nモード)
通信方式	全二重	全二重または半二重	半二重
同期方式	調歩同期式 (非同期式)		
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400 ビット/s *1		標準のNTリンクまたは高速NTリンク *2
接続形態	1:N (N:最大32台)		1:N (N:最大8台)
伝送距離	最大500m (総延長500m以下、T分岐の支線長10m以下)		
インタフェース	EIA RS-485準拠		

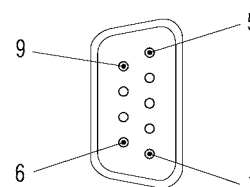
プロトコル	無手順	シリアルゲートウェイ	Modbus-RTU
通信方式	全二重	—	—
同期方式	—	—	—
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400 ビット/s *1		
接続形態	1:N (N:最大32台)		
伝送距離	最大500m (総延長500m以下、T分岐の支線長10m以下)		
インタフェース	EIA RS-485準拠		

*1. 230400ビット/sは形CJ1W-SCU□2の場合のみ対応しています。

*2. NTリンク (1:Nモード) で“高速のNTリンク”を選択できるのは、1999年12月20日以降のシリアルコミュニケーションユニットに限ります。1999年12月19日以前では、“標準のNTリンク”固定となります。

コネクタピン配置 (形CJ1W-SCU31-V1/SCU41-V1)

ピンNo.	略称	信号名称	入出力
1 *1	SDA	送信データー	出力
2 *1	SDB	送信データ+	出力
3	NC	未使用	—
4	NC	未使用	—
5	NC	未使用	—
6 *1	RDA	受信データー	入力
7	NC	未使用	—
8 *1	RDB	受信データ+	入力
9	NC	未使用	—
シールド *2	FG	シールド	—



*1. 2線式の設定時は、1、2番ピンまたは6、8番ピンのどちらかを使用します。

*2. シールドは、シリアルコミュニケーションユニット内を経由して、電源ユニットの接地端子 (GR) に接続されています。したがって、電源ユニットのGRを接地することでケーブルのシールドが接地されます。

注. 相手機器により、略称SDA/B、RDA/Bと信号の+/-極性が逆になるものがありますので、必ず極性を確認の上結線してください。

適合コネクタ

プラグ：形XM2A-0901 (オムロン製) または同等品

フード：形XM2S-0911-E (オムロン製) または同等品

プラグ、フードは各ポートに1個付属しています。

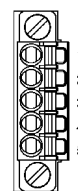
推奨ケーブル

CO-HC-ESV-3P×7/0.2 平河ヒューテック製

線路長：500m以下 (総延長500m以下、T分岐の支線長10m以下)

コネクタピン配置 (形CJ1W-SCU32/SCU42)

ピンNo.	略称	信号名称	入出力
1 * 1	RDA	受信データー	入力
2 * 1	RDB	受信データ+	入力
3 * 1	SDA	送信データー	出力
4 * 1	SDB	送信データ+	出力
5 * 2	FG	シールド	—



*1.2線式の設定時は、1、2番ピンまたは3、4番ピンのどちらかを使用します。

*2.5 (シールド) は、シリアルコミュニケーションユニット内を経由して、電源ユニットの接地端子 (GR) に接続されています。したがって、電源ユニットのGRを接地することでケーブルのシールドが接地されます。

注. 相手機器により、略称SDA/B、RDA/Bと信号の+/-極性が逆になるものがありますので、必ず極性を確認の上結線してください。

適合コネクタ

プラグ：形FMC 1.5/5-STF-3.5AU (フェニックスコンタクト製) または同等品

推奨ケーブル

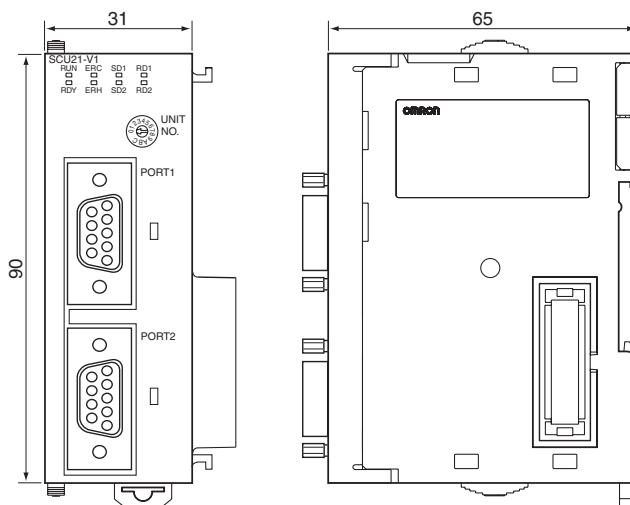
CO-HC-ESV-3P×7/0.2 平河ヒューテック製

線路長：1200m以下 (マルチドロップ配線)

外形寸法

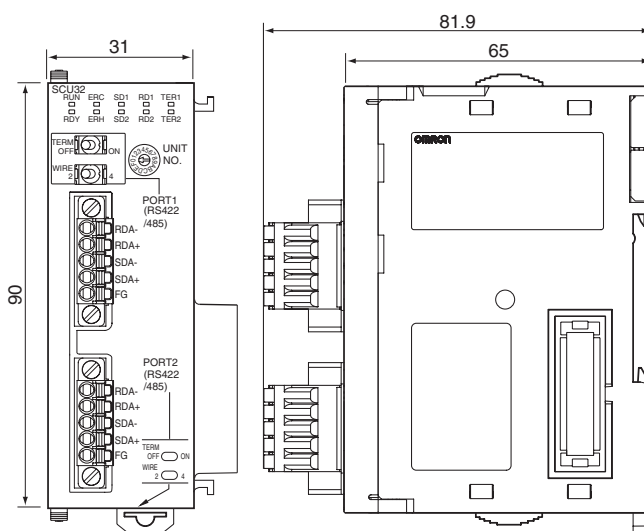
(単位：mm)

形CJ1W-SCU22
形CJ1W-SCU21-V1/SCU31-V1/SCU41-V1

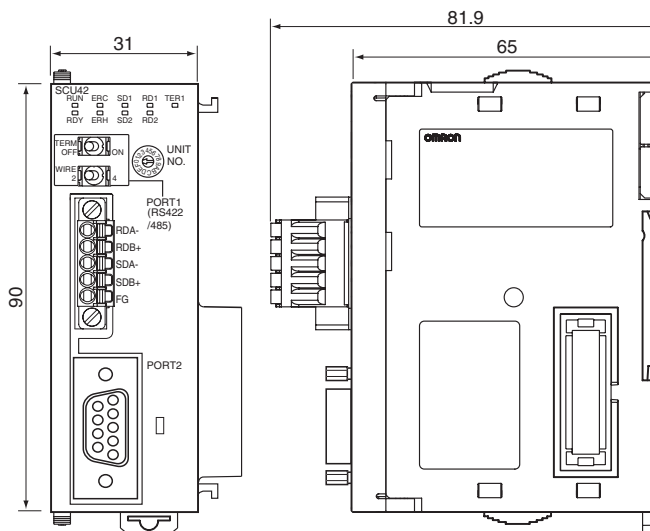


注. 形式により外観が異なる場合があります。

形CJ1W-SCU32



形CJ1W-SCU42



関連マニュアル

Man.No	形式	マニュアル名称	用途	内容
SBCD-300	形CJ1W-SCU□□2 形CS1W-SCB□□-V1 形CS1W-SCU□□-V1 形CJ1W-SCU□□-V1	SYSMAC CS/CJシリーズ シリアルコミュニケーション ボード シリアルコミュニケーション ユニット ユーザーズマニュアル	シリアルコミュニケーションボード /ユニットの説明	シリアルコミュニケーションボード/ユニット に関して、以下の内容を説明しています。 ・概要、仕様 ・システムの設計、構築 ・機器の詳細説明 ・メンテナンス、トラブルシューティング
SBCA-349	形CJ2H-CPU□□-EIP 形CJ2H-CPU□□	CJシリーズ CJ2 CPUユ ニットユーザーズマニユア ル ハードウェア編	CJ2 CPUユニットの概要/設計/取 付/保守などの基本的な仕様につ いて知りたいとき。 おもにハードウェアに関する情報。	CJ2 CPUユニットのPLC本体に関して、以下 の内容を説明しています。 ・概要 ・システムの設計 ・システムの構築 ・予防保全とメンテナンス ユーザーズマニュアル ソフトウェア編 (SBCA-350) と併せて使用してください。
SBCA-312	形CJ1H-CPU□□H-R 形CJ1G/H-CPU□□H 形CJ1G-CPU□□P 形CJ1M-CPU□□ 形CJ1G-CPU□□	CJシリーズ ユーザーズマニュアル セットアップ編	CJシリーズの概要/設計/取付/保守 などの基本的な仕様について知りた いとき	CJシリーズのPLC本体に関して、以下の内容 を説明しています。 ・概要/特長を知りたい ・システム構成を設計したい ・取付/配線をしたい ・I/Oメモリの割付を知りたい ・トラブル時の対処方法を知りたい ユーザーズマニュアル プログラミング編 (SBCA-313) と併せて使用してください。
SBCA-351	形CJ2H-CPU□□-EIP 形CJ2H-CPU□□ 形CS1G/H-CPU□□H 形CS1G/H-CPU□□-V1 形CS1D-CPU□□H 形CS1D-CPU□□S 形CJ1H-CPU□□H-R 形CJ1G/H-CPU□□H 形CJ1G-CPU□□P 形CJ1M-CPU□□ 形CJ1G-CPU□□ 形NSJ□-□□□□ (B)-G5D 形NSJ□-□□□□ (B)-M3D	CS/CJ/NSJシリーズ コマンドリファレンスマ ニュアル	命令語の詳細について知りたいとき	各命令語の詳細説明をしています。
SBCA-304	形CJ2H-CPU□□-EIP 形CJ2H-CPU□□ 形CS1G/H-CPU□□H 形CS1G/H-CPU□□-V1 形CS1D-CPU□□H 形CS1D-CPU□□S 形CS1W-SCU□□-V1 形CS1W-SCB□□-V1 形CJ1G/H-CPU□□H 形CJ1G-CPU□□P 形CJ1M-CPU□□ 形CJ1G-CPU□□ 形CJ1W-SCU□□2 形CJ1W-SCU□□-V1 形CP1H-X□□□□-□ 形CP1H-XA□□□□-□ 形CP1H-Y□□□□-□ 形NSJ□-□□□□ (B)-G5D 形NSJ□-□□□□ (B)-M3D	CS/CJ/CP/NSJシリーズ 通信コマンド リファレンス マニュアル	CS/CJ/CPシリーズ CPUユニット、 NSJシリーズ宛て通信コマンドの詳 細について知りたいとき	1) Cモードコマンドおよび 2) FINSコマンドの詳細について説明していま す。CPUユニット宛ての通信コマンド (Cモ ードコマンドまたはFINSコマンド) の詳細を知 りたいときに、参照してください。 注. 本マニュアルに記載している通信コマンド は、CPUユニット宛ての通信コマンドです。 その通信経路は、問いません (CPUユニッ トのシリアル通信ポート、シリアルコミュ ニケーションボード/ユニットの通信ポ ート、通信ユニット経由などが可能です)。ま た、高機能I/OユニットまたはCPU高機能ユ ニット宛コマンドに関しては、各ユニッ トのユーザーズマニュアルを参照してくださ い。
SBCA-346	形CXONE-AL□□C-V□/ AL□□D-V□	CX-One セットアップマ ニュアル	CX-Oneからソフトウェアをインス トールするとき	FA統合ツールパッケージ CX-Oneの概要、CX- Oneのインストール方法について説明していま す。
SBCA-337	形WS02-CX□□-V□	CX-Programmer オペレーションマニュアル	Windowsパソコン用プログラミング ツールCX-Programmerの操作方法 について知りたいとき	CX-Programmerの操作方法について説明して います。
SBCA-307	形WS02-PSTC1-J	CX-Protocol オペレーションマニュアル	プロトコルマクロ (送受信シーケ ンス) 作成ツール CX-Protocol の操作方法について知 りたいとき ユーザ作成のプロトコルマクロ機能 の詳細を知りたいとき	1) CX-Protocol の操作方法、および 2) プロトコルマクロに関する詳細について、 説明しています。CX-Protocol を使用して、 ユーザでシリアル通信用のプロトコルを作成す る場合または標準システムプロトコルをカスタ マイズする場合に、参照してください。
SBCA-347	形CXONE-AL□□C-V□/ AL□□D-V□	CX-Integrator CS/CJ/CP/ NSJシリーズ用ネットワーク コンフィグレーションツール オペレーションマニュアル	ネットワーク設定/モニタを行いた いとき	CX-Integratorの操作方法について説明してい ます。

オムロン商品ご購入のお客様へ

ご注文に際してのご承諾事項

平素はオムロン商品をご愛用いただき誠にありがとうございます。
さて本カタログにより当社制御機器商品(以下当社商品といいます)をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の適合用途の条件、保証内容等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえご注文ください。

1. 保証内容

保証期間

当社商品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社商品に故障を生じた場合は、代替品の提供または故障品の修理対応を、製品の購入場所において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- 本カタログまたは仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱いならびにご使用による場合
 - 当社商品以外の原因の場合
 - 当社以外による改造または修理による場合
 - 当社商品本来の使い方以外による場合
 - 当社出荷当時の科学・技術の水準では予見できなかった場合
 - その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合
- なお、ここでの保証は、当社商品単体の保証を意味するもので、当社商品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2. 責任の制限

当社商品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社商品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3. 適合用途の条件

当社商品を他の商品と組み合わせて使用される場合、お客様が適合すべき規格・法規または規制をご確認ください。

また、お客様が使用されるシステム、機械、装置への当社商品の適合性は、お客様自身でご確認ください。

これらを実施されない場合は、当社は当社商品の適合性について責任を負いません。

下記用途に使用される場合、当社営業担当者までご相談のうえ仕様書などによりご確認いただくとともに、定格・性能に対し余裕を持った使い方や、万一故障があっても危険を最小にする安全回路などの安全対策を講じてください。

- 屋外の用途、潜在的な化学的汚染あるいは電気的妨害を被る用途または本カタログに記載のない条件や環境での使用
 - 原子力制御設備、焼却設備、鉄道・航空・車両設備、医用機械、娯楽機械、安全装置、および行政機関や個別業界の規制に従う設備
 - 人命や財産に危険が及ぶシステム・機械・装置
 - ガス、水道、電気の供給システムや24時間連続運転システムなど高い信頼性が必要な設備
 - その他、上記a)～d)に準ずる、高度な安全性が必要とされる用途
- お客様が当社商品を人命や財産に重大な危険を及ぼすような用途に使用される場合には、システム全体として危険を知らせたり、冗長設計により必要な安全性を確保できるよう設計されていること、および当社商品が全体の中で意図した用途に対して適切に配電・設置されていることを必ず事前に確認してください。

本カタログに記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認のうえ、ご使用ください。

当社商品が正しく使用されずお客様または第三者に不測の損害が生じることがないように使用上の禁止事項および注意事項をすべてご理解のうえ守ってください。

4. 仕様の変更

本カタログ記載の商品の仕様および付属品は改善またはその他の事由により、必要に応じて、変更する場合があります。

当社営業担当者までご相談のうえ当社商品の実際の仕様をご確認ください。

5. サービスの範囲

当社商品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

6. 価格

本カタログに記載の標準価格はあくまでも参考であり、確定されたユーザー購入価格を表示したものではありません。

また、消費税は含まれておりません。

7. 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外での取引および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載し、ご使用上の注意事項等は掲載しておりません。

ご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容については、必ずユーザーズマニュアルをお読みください。

本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非住居者に提供)する場合は同法に基づき輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

お問い合わせ先

カスタマサポートセンタ

クイック オムロン
0120-919-066

携帯電話・PHSなどではご利用いただけませんので、その場合は下記電話番号へおかけください。

電話 **055-982-5015**(通話料がかかります)

【技術のお問い合わせ時間】

営業時間: 8:00 ~ 21:00

営業日: 365日

【営業のお問い合わせ時間】

営業時間: 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:30(土・日・祝祭日は休業)

営業日: 土・日・祝祭日/春期・夏期・年末年始休暇を除く

FAXによるお問い合わせは下記をご利用ください。
カスタマサポートセンタ お客様相談室 FAX 055-982-5051

その他のお問い合わせ先
納期・価格・修理・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、
または貴社担当オムロン営業員にご相談ください。

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。